



エミリー・カー「海景色」

リアリストたちが、アレックス・コルヴィーユ(一九二〇)の作品に刺激を受け、その影響下に制作をしていた。西海岸ではエミリー・カーがフランスの影響をたつぷりしみこませた作品とともにバンクーバーへもどってきた。そこで彼女は田園風景を描き、インディアンの生活ぶりを描きはじめた。この仕事はずっと注目もされず評価もされなかったが、数年後「グループ・オブ・セブン」の仲間たちによって発見された。彼らはこれに夢中になり、さらにこの仕事を続けるようカーを激励したのである。

西部の平原地方では、マニトバ州ウィネペグで栄光の孤独のうちに制作を続け、たライオネル・フィッツジェラルド(一八九〇—一九五六)が、彼の死以前の時期にあっては唯一の重要な画家であるにすぎない。サスカチユワンのレジャイナにある当時州立大学によって維持されていた美術学校で、教師たちの一グループが集まり、ニューヨークの美術を西部の美術家たちに紹介す

ギド・モリナーリ

一九三三年モントリオールで生まれ、モントリオール美術博物館芸術デザイン科で学ぶ。一九五〇年代の中頃から作品を発表しだして、ニューヨーク近代美術館(一九六五年)、第三十四回ベニス・ビエンナーレなど、内外の美術展に数多く出品した。一九七六年にはカナダ国立美術館が大規模なモリナーリ回顧展を催し、昨年はオンタリオ美術館主催の「一九七〇年代における美術家十人展」に選ばれて、ヨーロッパ各地で紹介された。

トム・トムソン

一八七七年、オンタリオ州で生まれる。米国のシアトルで商業美術家をしていたが、のちトロントに移って独自の画風をうち立てた。カナダの風景画、特に「グループ・オブ・セブン」に大きな影響を及ぼした。一九一七年、アルゴンキン公園内のカヌー・レークで事故死した。

ローレン・S・ハリス

一八五五年、オンタリオ州生まれ。トロント大学、ベルリンで学ぶ。家が豊かだったため、その後はトロント、米国ニュー・ハンプシャー、ニュー・メキシコ、バンクーバーなどで創作に専念することができた。「グループ・オブ・セブン」創立者の一人。一九七〇年に死亡した。

ロイ・キヨオカ

一九二六年、サスカチユワン州で生まれ、アルバ

ータ州カルガリーで育つ。学業のあと、メキシコでジェームズ・ビントと一緒に創作。カルガリー、レジャイナ、バンクーバーなど各地で教師をしながら創作を続ける。バンクーバー在住。

ポール・エミール・ボルドウワ

一九〇五年、ケベック州で生まれる。巨匠オジラス・レデックの下で修業したのち、モントリオール美術学校などで学ぶ。モントリオールで絵を教えたが、一九四八年、ケベック社会の旧習温存的な構造を厳しく非難する本を発表したため、教師の資格をなく奪われた。その後、故郷のサンティレールやニューヨークに住み、一九六〇年パリで亡くなった。

その他の画家

デビット・ミルン(一八八三—一九五三)
アルフレッド・ペラン(一九〇六—)
ジョン・ライマン(一八八六—一九六七)
アーサー・F・マケイ(一九二六—)
ジャック・W・ハンフリー(一九〇一—一九六七)
ジャック・ブッシュ(一九〇七—一九七八)
グレグ・カーノー(一九三六—)
バタソン・ユーウェン(一九二五—)
シャルル・ギャニオン(一九三四—)
ロン・マーティン(一九四三—)
マイケル・スノー(一九二九—)
ジョイス・ウィーランド(一九三一—)
シャーリー・ウィータサロ(一九四九—)
ジャック・シャドボルト(一九〇九—)